

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公開番号】特開2017-181657(P2017-181657A)

【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-038

【出願番号】特願2016-66021(P2016-66021)

【国際特許分類】

G 02 C 13/00 (2006.01)

G 01 B 11/16 (2006.01)

【F I】

G 02 C 13/00

G 01 B 11/16 H

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月8日(2019.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼鏡を装用した被検者の画像を解析し、被検者の眼鏡装用パラメータを測定するための眼鏡装用画像解析装置であって、

撮影装置によって撮影された眼鏡フレームを装用した被検者の第1装用データと、前記第1装用データと異なる日時にて撮影装置によって撮影された前記眼鏡フレームを装用した前記被検者の第2装用データと、を取得する取得手段と、

前記第1装用データと、前記第2装用データと、を比較可能に出力する制御手段と、
を備えることを特徴とする眼鏡装用画像解析装置。

【請求項2】

請求項1の眼鏡装用画像解析装置であって、

前記制御手段は、前記第1装用データと、前記第2装用データと、をモニタに比較可能に表示することを特徴とする眼鏡装用画像解析装置。

【請求項3】

請求項1又は2の眼鏡装用画像解析装置であって、

前記制御手段は、前記第1装用データと前記第2装用データとを差分処理し、差分データを取得し、前記差分データを出力することによって、前記第1装用データと、前記第2装用データと、を比較可能とすることを特徴とする眼鏡装用画像解析装置。

【請求項4】

眼鏡を装用した被検者の画像を解析し、被検者の眼鏡装用パラメータを測定するための眼鏡装用画像解析方法であって、

撮影装置によって撮影された眼鏡フレームを装用した被検者の第1装用データと、前記第1装用データと異なる日時にて撮影装置によって撮影された前記眼鏡フレームを装用した前記被検者の第2装用データと、を取得する取得ステップと、

前記第1装用データと、前記第2装用データと、を比較可能に出力する制御ステップと

、
を備えることを特徴とする眼鏡装用画像解析方法。

【請求項5】

眼鏡を装用した被検者の画像を解析し、被検者の眼鏡装用パラメータを測定するための眼鏡装用画像解析装置において実行される眼鏡装用画像解析プログラムであって、

前記眼鏡装用画像解析装置のプロセッサによって実行されることで、

撮影装置によって撮影された眼鏡フレームを装用した被検者の第1装用データと、前記第1装用データと異なる日時にて撮影装置によって撮影された前記眼鏡フレームを装用した前記被検者の第2装用データと、を取得する取得ステップと、

前記第1装用データと、前記第2装用データと、を比較可能に出力する制御ステップと、

を前記眼鏡装用画像解析装置に実行させることを特徴とする眼鏡装用画像解析プログラム。